

3機関連携 子ども守ろう 児童虐待防止のNPO 川崎市長に要望書

ツイート 17

0

チェック

おすすめ

0

8+1

0

2015年3月26日

川崎市の中学一年上村遼太さん(13)が殺害された事件を受け、児童虐待防止に取り組むNPO法人「シンクキッズ」(東京都港区)は二十五日、行政と警察、児童相談所の三者が連携して子どもを守るよう求める要望書を、福田紀彦市長と市教育委員会あてに提出した。



「子どもに関係する機関が連携すれば、子どもの命は救える」と話すシンクキッズの後藤代表理事＝市役所で

要望書は、子どもが虐待やいじめ、非行少年からの暴力など、家庭、学校、地域社会でさまざまな危険にさらされており、関係機関が協定を結ぶなど「連携して子どもを守る機能を最大限に高めることが必要」と指摘。

不登校児童の虐待や犯罪被害に遭うおそれ、家出、深夜徘徊(はいかい)などの情報を、学校と警察、児童相談所がやりとりする必要性を強調し、共同で家庭訪問や立ち直り支援をするよう求めている。

提出後に市役所で記者会見したシンクキッズの後藤啓二代表理事は「一つの機関が持つ情報は不十分で、案件を抱え込むと危険。三つの機関が連携すれば子どもの命を救えるはずだ」と訴えた。

要望書は同日、県警本部にも提出したほか、国にも関係機関が連携できるよう法整備を求める書面を出した。(横井武昭)

2015年3月26日 東京新聞